

刈払機の事故を防止するために

刈払い作業前に空き缶等を等片付け



草むらの中に空き缶等があると、飛んできてケガをすることがあります。あらかじめ、異物を取り除いてから作業しましょう。

刈払い作業前に、

1. 木の枝、空き缶、石等を取り除きます。
2. 刈刃に巻き付きそうな、テープ、針金等も取り除きます。
3. 測量杭等除去できないものには目印を付けます。

刈払機の飛散物防護カバーは付いていますか？



飛散防護カバーは作業の方へ飛散物が飛ばないようにするための物ですが、作業しにくいという理由でカバーを外してしまうことがあります。カバーを装着し、安全に作業しましょう。

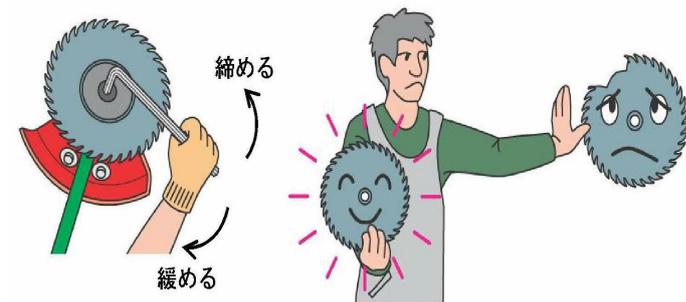
1. カバーを決まった位置に取り付けて使用します。後ろへずらしたり、取り外したりするのは危険です。
2. カバーが破損した場合には、新品に交換します。
3. 刈刃への巻き付き、詰まりは、必ずエンジンを停止させ、刈刃が止まったのを確認してから取り除きます。

《追加のヒント》

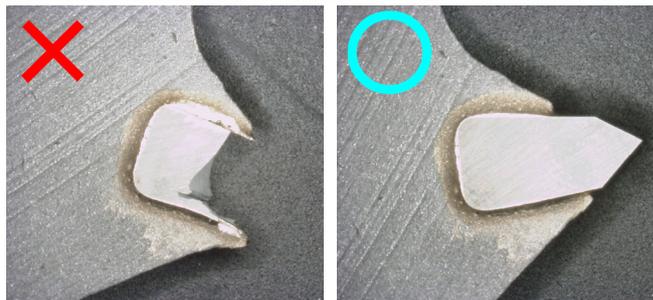
草の詰まり・絡みは、一刈りの草の量が多すぎると起こりやすくなります。

刈刃の左側の前1/3くらいだけ使って半歩ずつ前進するくらいのペースで作業すると効率的です。

刈払機の刈刃は必ず点検



刈刃にヒビが入ったり、欠けたまま、刈払機を使用すると破片が飛んできて危険です。刈刃の取付けネジは左ネジが多く、締め付けたつもりが緩めてしまうことがあります。作業前に確実に点検しましょう。



破損したチップ

正常なチップ

1. 作業中に異常を感じた場合は必ずエンジンを止めてから点検しましょう。
2. 岩、石、切り株などの障害物に刈刃が接触すると、チップが破損し、破片が飛び散ることがあります。
3. 異常があるときは新しい刈刃と交換しましょう。